

年 組 名前:

折り紙講師は99歳

文庫連絡会・功刀さん 雑談楽しみ交流

甲府文庫連絡会浅川玲子代表が甲府市立図書館で開いている折り紙教室で、99歳のメンバー功刀まつゑさん（同市宝子丁目）が講師の一人として活動している。「住んでいる所も年代も違ういろいろな人が来てくれるので、雑談しながら折るのが楽しい」と話す。折り紙はどんな紙でもできて、雑念を忘れて夢中になれるのが魅力といい、「健康である限り、自分に合ったものに挑戦する心を持ち続けたい」と笑顔を見せる。



参加者に折り紙のリースの作り方を教える功刀まつゑさん（左）
甲府市立図書館

〈杉原みずき〉

功刀さんが折り紙を始めたのは、夫が亡くなった約30年前。気分転換しようと、折り紙の本を持っていたことを思い出して手に取った。折っていると「落ち込んでいた気持ちが和らいだ」といふ。

10年余り前に会に誘われて入会。会員が当番制で講師を務める毎月2回の折り紙教室で、参加者に作り方を教えている。11月上旬には功刀さんが、クリスマスリースの作り方を紹介。手順を説明し「線をしっかりとつけると、きれいに折れますよ」とアドバイスした。

浅川代表は功刀さんについて「向上心があつて、何にでも興味を持つ。新しい作品も覚えて教えられる」と話す。功刀さんは「みんな優しく大事してくれる。自分のできる範囲でやっていきたい」と考えている。

自宅でも時間がある時に折り紙をする。「やつていると、あれこれしなきゃ」というのを忘れられて解放感がある。新聞広告でも包装紙でも何でも捨てる前に折り紙に生かして楽しめると笑う。

他にハーモニカやオカリナも習うなど意欲的に日々を過ごす。「若いころは戦時中で、いろいろなことができなかった。健康な体に感謝して毎日を大事にしたい」と話している。

(2023年11月29日付 山梨日日新聞 14面)

問1 99歳の功刀さんは、折り紙教室で講師をしています。30年前に折り紙を始めた、きっかけを

教えてください。

.....

問2 会の代表は、功刀さんについて、どのように話していますか。

.....

問3 功刀さんは、折り紙以外に何を習い、日々を過ごしていますか。

.....